

12月定例会号

目次

わかやま 市議会 だより

- ・特集 これからもずっと和歌浦っ子!
～地域で育ち、共に生きる～ …… P2
- ・12月定例会の概要 …… P4
- ・採決状況 …… P5
- ・一般質問 …… P6
- ・委員会審査の概要 …… P10
- ・創刊100号記念! 市議会クイズなど …… P12

No.100 令和3年(2021年)2月1日発行

自分たちができること。



っ子!

若者の地域への関心が低下する中、長年、地域の清掃活動やアサリの保全活動に取り組んできた和歌浦小学校。こうした取組が環境省で評価され、令和2年度地域環境保全功労者表彰を受賞しました。

今回、地域の宝の一つ、片男波海水浴場の清掃活動に私たちも参加し、児童の皆さん取材しました。



③ 郷土を愛する心を育む

「高津子山から見る桜並木が大好き」と笑顔で答えてくれた児童会の会長と副会長は、「卒業後も地域活動を続けていきたい」と言います。また、小学校での活動について、「いろんな活動に参加して続けていってほしい」と和歌浦っ子らしく答えてくれました。

和歌山市には、自然、文化、歴史など魅力あふれる

資源がたくさんあります。子供たちがそれぞれの地域で成長していくためには、学校での学習に加えて、地域住民との交流や地域の力が必要です。地域に支えられて育った子供たちが、郷土に誇りと愛着を持ち、地域の一員として和歌山市の将来を担っていけるよう和歌山市議会は後押ししていきたいと思っています。



編集後記

継続は力なり。地域一丸の活動を経て自分たちの海を守るという気持ちが育まれ、自ら手を挙げ地域活動に参加する子供たちの姿はとても頼もしく感じました。

取材中、活動内容や地域の将来について聞いたところ、子供たち

は無邪気な笑顔で個々の思いを話してくれました。

万葉の歌人たちが歌に詠んだ景観。子供たちが守ってくれている地域のすばらしさを、私たちも伝えていきたいと思っています。

特集担当:西風 章世、古川 祐典、山中 敏生



これからもずっと和歌浦 ～地域で育ち、共に生きる～

① 大好きなまちのために

地域の清掃活動は、平成18年から全児童で御手洗池周辺や8の字公園、片男波公園などを清掃したことが始まりで、今では総合的な学習の時間に自分たちのまちを知る授業に併せて、現地の清掃活動もしたいと子供たちから提案するほど積極的になっています。

また、平成27年からは、和歌浦の干潟を守る活動「あさり姫プロジェクト」に参加し、環境学習アドバイザーや和歌浦漁業協同組合の方など、地域の多くの方々にお世話になりながら、干潟について学び、保全活動に取り組んでいます。干潟の学習は、今は3年生恒例の授業となっていますが、まだ経験したことのない和歌浦での潮干狩りの復活に向け、子供たちの思いはより強くなっています。

こうした小学校6年間の地域活動は、子供たちの環境への意識を高め、規律ある行動へとつながっています。



動会のように、みんなが生き生きと楽しんでいるように見えます。学年の枠を越えたチームワークと連携プレー。そこには一体何があるのでしょうか。子供たちの声に耳を傾けてみました。

「和歌浦が大好きだから」「きれいな海を守りたい」「多くの人に遊びに来てほしい」など、子供たちの口から出てくる言葉を聞いていると、本当に和歌浦のことが好きなんだという気持ちが伝わってきます。そんな子供たちの本音、純粋な気持ちに触れると、胸にグッと込み上げてくるものがありました。

生まれ育ったまちで、自分たちにできることを考え、取り組んできた活動が子供たちを成長させています。今回、取材を通しての参加でしたが、忘れかけていた地域活動の原点を子供たちが思い出させてくれたような気がします。

② 小さなゴミも見逃さない

子供目線の清掃活動は、大人では気が付きにくい細かい場所や小さなゴミまで目が届き、とても丁寧です。大きなゴミ袋を手に、片男波海水浴場を端から端まで歩きながら清掃し、拾ったゴミの量を競い合ったり、ときには砂浜で小さな貝殻を探している姿は、まるで待ちに待った遠足や運

12月定例会の概要

開会

11月26日

- ・会期の決定(11月26日～12月14日)
- ・議案説明(報告3件、議案24件(補正予算案2件、条例案13件、その他9件))
- ・先議分 質疑(姫田議員)

11月30日

- ・議案の撤回(令和2年12月定例会市議会議案第2号)、採決

- ・先議分 採決
- ・決算関係の議案(令和2年9月定例会市議会議案)
- ・決算特別委員会の委員長報告
- ・反対討論(森下議員)、採決
- ・議員発議(IR誘致に関する特別委員会の設置1件)、採決、委員の選任
- ・議案の付託替え(令和2年6月定例会市議会議案第2号)

一般質問等

12月1日

- ・中村朝人議員、坂口多美子議員、赤松良寛議員

12月2日

- ・松本哲郎議員、古川祐典議員、戸田正人議員(P6～P9に概要掲載)
- ・追加議案の説明(補正予算案1件)
- ・議案の委員会付託

常任委員会

12月3日～8日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

12月9日

- ・各常任委員会で議案について採決(P10～P11に概要掲載)

特別委員会

12月10日

- ・IR誘致に関する特別委員会で議案について、審査及び採決

閉会

12月14日

- ・各常任委員会の委員長報告、採決
- ・IR誘致に関する特別委員会の委員長報告、採決
- ・追加議案の説明(補正予算案1件)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件3件)、採決
- ・議員発議(意見書案1件)
- ・反対討論(南畑議員)、採決

令和2年度予算(12月補正後)

一般会計	1,982億1,587万円 (補正額10億3,930万6千円)
特別会計及び公営企業会計	1,390億6,427万3千円 (補正額5,900万円)
合計	3,372億8,014万3千円

補正予算の概要

一般会計では、3密を回避するための窓口案内システムの整備、新興感染症等に係る衛生研究所の検査体制の強化、飲食事業者が実施する感染拡大防止対策への奨励金の交付、低所得のひとり親世帯に対する支援、帰国子女や外国籍等の児童・生徒に対するサポートの充実などに要する経費が計上されました。

特別会計では、直轄事業用地先行取得事業特別会計で、国の事業計画変更に伴い、土地購入や建物移転等の補償に要する経費が計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

IR誘致に関する特別委員会を設置 誘致同意が議決事項に!

IR(統合型リゾート)の誘致は、大きな経済効果及び雇用効果が見込まれ、少子高齢化や所得の低迷、税収の改善といった諸課題の解決に向け、その一助となるものとされる一方、治安の悪化やギャンブル依存症の増加などを懸念する声も聞かれるなど、市民生活に多大な影響を及ぼす極めて重要な案件です。和歌山市議会では、IR事業の進捗状況を注視し、独自の視点から調査、検討を行うため、IR誘致に関する特別委員会を設置しました。これにより、和歌山市議会は、誘致に関して立地自治体である本市の同意を議決する重要な役割を担うことになりました。

ピックアップ

PickUp! 一般質問

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

公明党議員団



まつもと てつろう
松本 哲郎

今後の市営住宅

問 本市の市営住宅は、その多くが昭和50年以前に建設され、老朽化と新耐震基準に対する課題を抱えている。特に東部地域にある岡崎・鳴神・菖蒲ヶ丘団地は大規模であることから、市は再生方針を打ち出し、昨年

待望の岡崎団地新1号棟が建設され、高齢者や障害者の方も安心して生活できる住宅に生まれ変わった。これら3団地の今後について、①岡崎団地2号棟3号棟のスケジュールはどうか。また、団地内にある保育園の建て替えも視野に入れているのか。②鳴神団地の方向性、③菖蒲ヶ丘団地の方向性はどうか。



岡崎団地 新1号棟

答 ①岡崎団地については、今後、埋蔵文化財発掘調査を経て、令和3年度から新2号棟の建設に着手する予定である。新3号棟の建設は、平成29年作成の市営住宅長寿命化計画で令和8年度までの実施を目標としている。また、保育園についても老朽化が進んでいることか

ら、関係部局と連携している。②鳴神団地については、現地建て替えとして計画しているが、入居者及び岡崎団地新棟への入居希望者の状況を把握し、令和4年に作成予定の次期計画において、更に検討するとともに継続的な管理に努めていく。③菖蒲ヶ丘団地については、簡易耐火構造平屋建て及び二階建ての住戸の最終結果が現地建て替えとして一定の方向付けができたことと認識している。次期計画では、早期に実現できるように十分に検討していく。

行政手続における押印廃止

問 国が押し進めている押印廃止は、窓口業務のスピードアップに加えて、市民の利便性向上に間違いなくつながることから、本市も積極的に進めるべきだと考えるが、現在の取組状況はどうか。

答 本市には現時点で3068件の行政手続があることが判明した。現在、押印見直しのガイドライン作成について協議しており、押印



の義務付けを廃止できるものを洗い出したいと考えている。また、法令等で定められているものについては、国や県の動向を注視し、指針や通知が発出され次第、速やかに対応していく。

コロナ禍における支援体制の強化

問 新型コロナウイルスの影響が長期化する中、複雑な課題やリスクを抱えている方も少なくはない。令和3年4月には、改正社会福祉法が施行され、いわゆる断らない相談支援を具体化するため、重層的支援体制整備事業が始まる。コロナ禍で大変な思いをされている方々を誰一人取り残さないという決意で、この事業を速

やかに取り組んではどうかと考えるが、市長の決意はどうか。
答 この事業は、市全体の関係部局やその他関係機関が協働し、縦割りの弊害である制度間の高い壁を低くし、スムーズな連携を取ることに、包括的な支援体制を構築するものである。コロナ禍で大変な思いをされている方々はもちろんのこと、地域住民の方々に対し、包括的かつ継続的な支援ができる事業として、実施に向けて積極的に取組を進めていく。

自由民主党市議団



ふるかわ まさのり
古川 祐典

偉人顕彰事業

問 50年前の陸奥宗光伯爵銅像建立除幕式当時の気概にない、銅像建立50周年、市制130周年に際し、県政150周年の県とともに銅像前での記念祝典を計画してはどうか。

また、来年の銅像建立50周年をきっかけとして、その魅力を改めて広く発信できる仕組みづくりに取り組んではどうか。

市長は、土佐の坂本龍馬、鹿児島西郷隆盛のような存在として、陸奥宗光伯を和歌山の顔となるように気概をもって取り組む思いがあるのか。



陸奥宗光伯

答 銅像が多く先人により建立されたことに敬意を払い、本市の歴史や文化を振り返り、未来へ向かって歩みを進めるよう県とも協議しつつ、岡公園での記念行事の開催を検討していく。

来年は、銅像建立50年を迎える節目の年であるので、これをきっかけに博物館等で陸奥宗光伯の功績を紹介す

る展示を行うなど、市内外の人々に訪れてもらえるよう取り組んでいく。

功績を風化させることなく次世代へと継承し、市民の郷土愛を醸成させるため、更に力を入れ、気概をもって取り組みたい。

コロナ禍における保育行政

問 コロナ禍による緊急事態宣言又はそれと同様の状況になった場合において、自粛要請等を行ったとしても保育を必要とする児童は何人いるのか。

また、保育施設が休園した場合の代替措置を取らず、事態が長期化した場合、エッセンシャルワーカーをはじめとした就労者の子育て世帯への負担が大きくなることから、休園に加えて他のオプションを検討し、計画、準備をしておく必要があると考えるがどうか。

さらに、継続的な支援という観点で、行政がもう少し手を入れることができないかと考えており、施設で感染が発生した場合の消毒や日常の対策等について、保育施設を対象とした勉強

会等のリモート開催があってもいいと考えるが、その必要性についてはどうか。



答 保護者が働く企業等の活動状況により変動するため、事前想定は困難だが、本市の登園自粛要請期間における推計では3600人程度と考えられる。

施設内の感染拡大状況により異なるが、緊急処置として、市の施設の一部を利用して、市の施設の一部を利用して保育することや他の保育施設で保育することなど、感染を拡大させずに保育を継続する方法を検討したい。

リモートによる会議等は、今後感染が拡大していった場合には、有効な手段だと考えるため、保育施設、関係部局の意見を聴き、検討していきたい。

政和クラブ



とだ まさと
戸田 正人

市駅前周辺のまちづくり

問 新しく生まれ変わった和歌山市民図書館は、市民のニーズに寄り添った公共施設としての役割を最大限に果たし、にぎわいをみせている。一方で、駅前広場の利活用方法については、平成29年度に公募により提案いただいたが、いまだ具体的に決まっていない。

また、来年度秋に閉館予定の市民会館の跡地利用を速やかに定めることで、関係公共施設だけでなく、周辺の様々な民間投資を呼び込み、まちのにぎわいの大きな幹になると考える。

さらに、検討している博物館のリニューアルについて、運営者及び運営方法を決定した上で、基本設計や実施設計を行い、運営者が、にぎわい創出と公共施設が持つ従来の課題を解決する

ためのリニューアルへと発展していくべきと考える。

これらのことを踏まえ、市駅前周辺のまちづくりについて、どう考えているか。



南海和歌山市駅前周辺

答 和歌山市民図書館が、「市民の居場所」となったことをうれしく感じている。

新たなにぎわい創出に向けて、和歌山市民図書館やキーノ和歌山などの周辺施設や鉄道会社・民間企業・まちづくり団体などとの連携を進めており、民間投資を呼び込むことのできる駅前広場のより良い運営方法を探っていく。

また、現市民会館は、立地、規模から市駅前周辺地域の核となる場所と考えている。まちなか居住の促進、利便性の向上、交通結節機

能の強化等、民間活力を生かした活用策を早急に検討するため、サウンディング調査の準備を進めていく。

博物館のリニューアルに関するプロセスについては、着手する前に運営体制を明確にし、運営内容を設計等に生かしていくことが大切であると考えている。



和歌山市立博物館

予算流用の在り方

問 適切かつ円滑に事業を遂行するため、本市財務規則を再構築し、歳出予算の流用基準等をより明確に記すべきと考えるかどうか。

答 ケースごとに判断をして流用を承認しているが、その判断の基礎となる考え方について整理した上で、財務規則等に示していく。

日本共産党議員団



なかむら あさと
中村 朝人

コロナ禍における住民生活と経済対策

問 事業者から「支援があるうちは頑張れるが、このままでは廃業するしかない」と厳しい状況を伺った。支援が打ち止めとなれば雪崩を打つように倒産・廃業が広がりがねない。事業継続に向けた支援制度の改善や継続について、状況を把握し、どう実施するのか。

答 年4回実施、約400事業者から回答がある業種別調査や個別訪問などで実態把握に努め、必要な措置を検討していきたい。

問 9月の県内有効求人倍率は0.96倍で、非正規雇用の拡大が原因と考える。劣悪な労働条件や生活保障のない働き方、福祉制度の不足など、ギリギリの生活を余儀なくされている上にコロナ禍で生活がひっ迫し

一般質問

ている。市職員の正規雇用を拡大してはどうか。

答 適正な人員の確保に努めている。

問 アルバイトで生活費を工面しなければ進学できないという高学費の問題に加え、コロナ禍の影響により、満足な食事もとれないほど生活困窮が深刻な状況にあるため、給付型の奨学金制度を創設してはどうか。

答 各種奨学金制度を周知している。学生等への支援は、各々の制度の成果や社会情勢の変化を見極めながら調査、研究していく。



さかぐち たみこ
坂口 多美子

ひとり親家庭への支援

問 新型コロナウイルスの影響が長期化する中、ひとり親家庭、特に母子家庭の生活が深刻になっている。10月の女性の自殺者数が前年比で8割増加したとの公表もあり、早急な対策が必要である。市はコロナ禍で収入が減少したひとり親家庭

を把握していることから、その家庭へ訪問型の支援を強化すべきである。年越しを目前に、すぐにでも経済的支援を行うべきだと思いが、市長はどうか。

答 本市では、5月に独自の経済的支援を実施したが、今後、国の動向を注視しながら、ひとり親家庭等の状況把握に努め、可能な支援を行っていく。

加太地区の公共交通

問 加太地区で実施しているデマンド型乗合タクシーは、決まった停留所と時間に事前予約する現行方式が、出先からの帰りに使えなかつたなど利用しづらく、稼働率も低い状態が続いている。また、高齢化が進む中、地域が主体となつて運営することに無理があると考える。地域住民のニーズに合った公共交通になるよう制度を見直すべきだと思いが、市長は現状をどう受け止めているのか。

答 利用者が限定されているなどの課題があるため、更に利便性の高いものになるよう検討が必要と考える。

和歌山興志クラブ



あかまつ よしひろ
赤松 良寛

本市の水道事業

問 水道事業の使命は、安心できる品質、安定供給、そして安価であること。この三つの「安」だと考える。今年の1月には花山にて老朽管の漏水による断水騒ぎがあり、改めて市民生活に水道の及ぼす影響は大きいと再確認できた事象だった。将来的にどれだけ安定的に供給できる体制になっているかが市民にとって非常に重要ではないか。市内の水道管の総延長は約1500kmで、その長さは人口減少の中で年平均7.7km延長しているが、管路の新設を抑えて老朽管の更新に集中すべきと思うがどうか。

答 管路の整備は、老朽管路の更新を優先的に行っているが、街路事業等により道路が整備される場合は、沿線の土地利用に応じて水道

管路の新設も行うことから、必要性を精査しながら計画的に整備を進めている。



花山交差点の漏水復旧工事現場

コンパクトシティ化に向け

問 インフラが十分に整っている中心地の少子高齢化及び人口減少が激しい勢いで進み、空き家対策が喫緊の課題となる一方で、水道の例にもある新規のインフラ投資が年々並行して進んでいる実態からコンパクトシティの実現を目指すべきと思うが、都市計画の方向性をどう考えているか。

答 本市の都市計画の方向性は、市全体の活性化及び魅力の向上に向けて、「まちなかの活性化」「多極型のコンパクトシティの実現」を中心に進めている。

市議会をもっと知りたい! ~教えて議会博士~

太郎 「市議会のことを勉強していると、分からないことが出てきたんだけど……。」

花子 「どんなこと?」

太郎 「話し合いのことや、どうやって決めているのか、分からないんだ。」

花子 「こんなときは、議会博士〜!!」

博士 「市議会のことを分かりやすく知ってもらうために、子供向けパンフレットがあるんだよ。これを見れば、市議会の仕組みや進め方がすぐに分かるよ。」

花子 「パンフレットってどこでもらえるの?」

博士 「市役所1階の議会コーナーに置いてあるよ。それと、市議会のホームページでも見ることが出来るんだよ。」

太郎 「ほかにも何かあるの?」

博士 「市議会では、PR動画も制作しているんだよ。クイズ形式の動画もあって、市議会のことをとっても身近に感じることが出来るよ。」

花子 「えっ!? どこで見れるの?」

博士 「ホームページはもちろんのこと、公式フェイスブックページでも見ることが出来るんだよ。」

花子 「そうなんだあ。早く見たいなあ。」

太郎 「そうだね。」

花子 「パンフレットはどうする?」

太郎 「僕に任せて! 明日もらってくるよ。」



花子



太郎



議会博士

子供向けパンフレット



議会博士と一緒に楽しく学ぼう!



子供向けパンフレット

市議会PR動画



おもしろい!
わかりやすい!
ぜひご覧ください!



PR動画

声の市議会だより
(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 議事調査課
☎435-1120 までご連絡ください。

委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された議案6件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第5号、令和2年度和歌山市一般会計補正予算(第10号)中、大学誘致事業6400万円について。これは、旧市民図書館に誘致する専門職大学の施設整備費用に対し補助するものです。

バス路線維持対策事業2309万2千円の減額について。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により地域バスの実証運行を中止したため、減額するものです。

暴力団追放県民市民大会開催負担金事業29万8千円の減額について。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、暴力団追放県民市民大会が中止されたため、減額するものです。

議案第7号、和歌山市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について。これは、令和3年4月1日付け組織改正に向け、長の直近下位の内部組織及びその分掌する事務を見直すため、所要の改正を行うものです。

議案第8号、和歌山市財務に関

する条例の一部を改正する条例の制定について。これは、地方税法の改正により、地方税における延滞金の割合等の見直しが行われたことを踏まえ、本市の税外収入に係る延滞金の取扱いについて所要の改正を行うものです。

なお、審査過程において、令和3年度組織改正(案)について、令和2年度災害警戒本部設置状況について、令和2年度コロナ禍における避難所の開設・運営訓練の実施結果について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



コロナ禍における避難所の開設・運営訓練の様子



段ボールベッド

厚生委員会

当委員会に付託された議案6件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第5号、令和2年度和歌山市一般会計補正予算(第10号)中、窓口案内システム整備事業499万9千円について。これは、窓口における3密対策のため、Webサイトから窓口の呼出状況が確認できる発券機を導入するものです。



PCR検査センター委託事業639万1千円について。これは、今後の感染拡大局面に備え、PCR検査センターを医療機関へ委託し、検体採取体制を強化することで、PCR検査の迅速化・効率化を図るものです。

議案第9号、和歌山市平井ふれあいセンター条例の制定について。これは、和歌山市平井ふれあいセンターの設置に関し必要な事項を

定めるため、条例を制定するものです。

議案第10号、和歌山市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第11号、和歌山市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について、議案第12号、和歌山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について。これらは、地方税法における延滞金の割合等の見直しが行われたことを踏まえ、延滞金の取扱いについて所要の改正を行うものです。

議案第25号、令和2年度和歌山市一般会計補正予算(第11号)中、接触者健診強化事業367万9千円について。これは、今般の感染拡大に対応するため、接触者健診に従事する医師等を確保し、検査体制の強化を図るものです。

なお、審査過程において、第8期和歌山市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画(案)、第5期和歌山市障害者計画、第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画(案)、光化学オキシダント、令和3年度からの一般廃棄物(粗大ごみ)収集運搬業務の委託、太陽光発電事業の進捗などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



委員会の模様をインターネットで配信しています！

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。

経済文教委員会

当委員会に付託された議案5件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第5号、令和2年度和歌山市一般会計補正予算(第10号)中、四季の郷公園整備事業2億9130万8千円について。これは、四季の郷公園のグラウンドオープンに向け、設計・施工・維持管理運営を一体的に行う事業者を選定し、公園内を整備するものです。

新型コロナウイルス感染症対策事業550万円について。これは、新型コロナウイルス感染症対策のため、幼稚園で使用するマスク等の衛生用品及びサーキュレーター等の衛生器具の購入を行うものです。

議案第13号、和歌山市立青少年国際交流センター条例の一部を改正する条例の制定について。これは、青少年国際交流センターの利用促進を図る観点から、成人が利用する際の禁止事項の一部を緩和できるように、所要の改正を行うものです。

議案第25号、令和2年度和歌山市一般会計補正予算(第11号)中、新型コロナウイルス感染症拡大防止

対策促進事業1億円について。これは、飲食事業者が実施する感染拡大防止対策に対し、奨励金を交付するものです。

和歌山城・博物館等を活用したナイトタイムツアー造成事業1500万円について。これは、訪日外国人旅行者の満足度向上や観光消費拡大を目的として、和歌山城・博物館等を活用したナイトタイムツアーの造成を図るものです。



なお、審査過程において、和歌山市立博物館基本計画の策定について、令和2年度附属機関の会議の開催について、令和3年度からの若竹学級の運用の見直しについて、和歌山市駅前市街地再開発事業に関する権利価額の確定について、旧和歌山市民図書館の用途廃止及び所管換えについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

建設企業委員会

当委員会に付託された議案9件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第5号、令和2年度和歌山市一般会計補正予算(第10号)中、消防関係感染症対策事業149万4千円について。これは、消防職員の新型コロナウイルス感染症対策のため、各出張所の和式トイレを洋式化するものです。

救急高度化等推進整備事業394万3千円について。これは、救急業務に関わる職員の新型コロナウイルス感染症対策のため、感染防護服の購入を行うものです。

土木積算システム事業4870万円について。これは、土木積算システムの更新に伴い、次期システムを整備するものです。

議案第6号、令和2年度和歌山市直轄事業用地先行取得事業特別会計補正予算(第1号)、国道42号事業5900万円について。これは、国の事業計画の変更に伴い、事業費を変更するものです。

議案第14号、和歌山市営駅前広場駐車場条例の一部を改正する条例の制定について。これは、再整備

工事が今年度中に完了見込みである和歌山市営和歌山市駅前広場駐車場の運営を再開するとともに、駐車場の無料時間を延長するため、所要の改正を行うものです。

議案第15号、和歌山市駐車場配置適正化条例の制定について。これは、都市再生特別措置法の規定に基づき、駐車場配置適正化区域における路外駐車場の配置の基準等に関する事項を定めるため、条例を制定するものです。

なお、審査過程において、和歌山市立地適正化計画の変更について、執行部から報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



感染防護服を着用した救急訓練の様子

わかやま市議会だよりが創刊100号を迎えました!!



広報委員長

にしかぜ あきよ
西風 章世

市民の皆様方には、平素から議会活動及び議会広報にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、わかやま市議会だよりは、平成8年5月1日の創刊以来、今定例会号で記念すべき100号を迎えることができました。この間、市民の皆様との意見交換やアンケート調査などを行い、貴重なご意見をいただきながら、「見やすい、読みやすい、親しみのある紙面づくり」に取り組んでまいりました。

また、市議会をより身近に感じていただくため、最近では広報動画の制作にも力を入れており、最新情報を分かりやすくお伝えできるように努めているところです。

今後も、市民の皆様からのご意見に耳を傾け、広報委員一丸となつて、議会広報に取り組んでまいります。

広報委員長の挨拶

創刊100号記念! 和歌山市議会クイズ!

12月定例会で設置した特別委員会の名称は?

「〇〇〇〇に関する特別委員会」



〇に当てはまる言葉をお答えください。

〈ヒント〉
4ページを読んでね!

正解者の中から
抽選で100名様に
図書カードをプレゼント!

※当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。
※応募いただいた個人情報は、当該事業以外には使用いたしません。

応募方法

ハガキに①クイズの答え、②市議会へのご意見、③住所、④氏名、⑤年齢をご記入の上、ご応募ください。

応募締切

令和3年2月19日(金)(消印有効)

応募先

〒640-8511 和歌山市七番丁23番地
和歌山市議会事務局 市議会クイズ係

議員連盟

活動レポート

Vol.18

紀の川大堰に関する和歌山市議会議員連盟及び京奈和・第二阪和連絡道路建設促進和歌山市議会議員連盟は、紀の川の改修(新六箇井堰の撤去)及び内水対策(七瀬川)の実施、京奈和自動車道と第二阪和国道をつなぐ連絡道路の早期事業化に向けて活動しています。今回は合同で、和歌山県選出国會議員をはじめ国土交通省等に対し、要望活動を行いました。



次の定例会は、
2月です!

新型コロナウイルス感染症拡大防止及び感染リスク軽減のため、本会議及び委員会の傍聴は、できる限り同時配信しているインターネット中継をご覧ください。ご協力をお願いします。



生中継・録画中継をご覧ください。

ご意見・ご感想をお待ちしております

和歌山市議会広報委員会

【委員長】西風 章世 【副委員長】丹羽 直子
【委員】中村 朝人 赤松 良寛 山中 敏生
川端 康史 山野 麻衣子 坂口 多美子
藪 浩昭 古川 祐典 北野 均
佐伯 誠章

〒640-8511
和歌山市七番丁23番地
和歌山市議会広報委員会 宛
TEL: 432-0022(議会事務局)
FAX: 424-9276
Mail: gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



和歌山市議会ホームページ
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、
植物油インキを使用しています。

